

協立グループだより

KYORITSU GROUP

あけましておめでとうございます

2025

新春号

WINTER





協立グループだより

2025 新春号 WINTER

院長・所長挨拶	2
健康ふれあいまつりを開催しました	3
水俣協立グループリニューアル進捗のご報告	4
高岡所長著書「水俣病と医学の責任」の受賞報告	5
ベトナムのトップ研究者との医学交流の報告	6
協立グループからのお知らせ	7
	8

水俣協立病院 院長

重岡 伸一



水俣協立病院の建て替え工事がいよいよ始まります。総務・医局の引っ越しが終わり、1月8日が起工式で新病院の建設が始まります。約1年2か月の工事期間です。2026年4月からは新病院での診療が始まる予定です。その頃に芳和会75周年・水俣グループ50周年の記念行事を計画しています。老朽化して耐震性の低い建物が、災害に耐えうる安全な建物となることが一番意義のあることです。高齢化、人口減少が進む地域で働く職員の確保などの課題がありますが、地域の医療機関との連携や地域の皆様との意見交換も今まで以上に活発にしていきたいと考えています。住み慣れた地域で安心して生活できる、困ったことがあれば協立病院に気軽に相談できるよう今後とも地域医療・介護に取り組んでいきます。これからもよろしくお願いいたします。

神経内科リハビリテーション
協立クリニック 所長

高岡 滋



旧年中は、皆さまのご支援とご愛顧を賜り、心より感謝申し上げます。2024年度は、協立クリニックもリニューアル着手を迎えることになりました。私たち協立グループは、平和を守ること、民主主義を守ること、私たちの環境を守ることが命と健康を守る基本と考えております。昨年の衆議院選挙では、このような基本をわきまえて行動してこなかった与党が過半数を割ったものの、医療・介護をめぐる環境はますます厳しくなっています。健康保険証をなくす動き、雇用や賃金が抑えられている中での物価高などは、リニューアルを迎えつつある私たちにとっても大きな困難ですが、良い医療環境を提供し、患者・住民の皆様さらに寄り添った医療を提供できるよう、スタッフ一同努めてまいります。

2025年が皆さまにとって、心身ともに健やかで幸せな年となりますよう、今年一年ともに歩んでいきましょう。

2024 健康ふれあいまつりを開催しました

みなまた健康友の会
☎ 0966-63-3887



みなまた健康友の会 事務局長 永田 明美



11月30日(土)、約6年ぶりに健康ふれあいまつりを駅前のふれあい館で開催しました。まつりのメインテーマは「健康を味わい、楽しみ、考えよう」です。健康ふれあいまつりは新型コロナの影響で長らく休止していましたが、今年は再び開催することができました。例年、実行委員会形式で開催しており、9月以降3回の会議で企画を練るとともに、実行委員の知り合いなどにも声をかけ、今年は地域の商店街の方々にも出店を呼びかけることになりました。



ダンススタジオステア

当日は予想を上回る地域の方々にご参加いただき、来場者や出店者も例年以上に増え、地域のみなさまとの交流ができました。今後もさらに仲間を増やし、輪を広げ、地域のみなさまとのつながりと支えあいを深める健康まつりにしていきたいと思えます。参加者からは「来年も健康まつりをぜひ開催してほしい」とのうれしい声が多く聞かれました。朝早くから準備や運営に携わった関係者のみなさまには大変お世話になりました。



グルメコーナー

実行委員長である水俣協立病院の重岡伸一院長の挨拶ではじまり、楽しい踊りや太鼓のステージがありました。

また、おいしいグルメコーナーも充実しており、おいしそうなお菓子やからあげ、カレーなどの食べ物並び、手作り小物やアクセサリ、バザー、包丁研ぎ、木工体験など、多彩なお店が出店し、訪れた人々を楽しませました。

協立病院のコーナーでは、血圧測定や血糖測定、血管年齢、骨密度測定などが行われ、重岡院長が測定結果を説明、健康相談も行いました。協立クリニックでは、デイケアの利用者さんが手作りしたクリスマスの飾りや小物、椅子などの販売が行われました。どれも上手にできており、ほぼ完売となりました。

まつりの最後には、空くじなしの福引の抽選が行われ、大いに盛り上がりました。



五ツ太鼓



健康チェックコーナー

水俣協立グループ リニューアル進捗の ご報告

水俣協立病院 事務長 打上 里美



明けましておめでとうございます。

皆さま、新しい年をいかがお過ごしでしょうか。

昨年は、多くの方々にご支援をいただき、リニューアルの準備を進めることができました。

心から感謝申し上げます。

さて、協立グループリニューアルは1月8日に起工式を迎え、いよいよ新病院建設に着工します。

今号では、リニューアルの進捗と今後のスケジュールについてご報告致します。

1 入札を終えました

2024年9月中旬、2社で入札を行いました。円安や人件費と物価高騰の影響を受け入札不調となり、再入札を行うこととなりました。この時、再入札がどれくらいの金額になるのか、多くの職員が不安になったものです。その後、設計や仕様を変更し減額を図り、幸いなことに同月25日に予定金額内で入札を終え、安堵したと同時にいよいよ始まる大きなプロジェクトに身の引き締まる思いでした。

2 新病院建設に向けての事前準備スタート

10月15日より、建設予定地に建っていた総務・医局棟の移設のため、建設予定地の真横にある整形外科医院跡の改修工事に着工。11月末に改修が完了し、県連内職員の力も借りながら無事に引っ越しを終えました。並行して、病院敷地内にあった倉庫解体準備のため、倉庫内にあった水俣診療所時代からの膨大な量の外来カルテ、入院カルテ、水俣病検診関係資料、レントゲンフィルム等、50年の歴史を物語る資料の数々を水俣市内の医師住宅跡に移動・整理しました。膨大な資料を目の当たりにして、幾度もため息をついたことを思い出します。どちらも職員の力を結集した大移動となりました。

また、60床から48床へ減床し、地域包括ケア病棟の強みを生かし、更に在宅にシフトしていく中で、ハード面だけでなく、ソフト面（職員の働き方など）も大きく変化（進化）します。意見の違いや職員間の葛藤もありましたが、医師を中心に幾度も職員への説明会を実施し、議論を交わしました。友の会運営委員、諸団体、OB、OGの皆さまへの説明会も重ねて参りました。

3 着工

2025年1月8日の起工式後、いよいよ新病院建設に着工します。完成イメージ図がお披露目されワクワクする一方で、想像を遥かに超える多忙な1年となることに不安もありますが、人生の中でこれほど大きなプロジェクトに係わることは大変貴重な経験です。

4 地域協同基金・寄付のご報告と更なるご支援のお願い

2024年4月から目標2億円とし取り組みを開始し、2024年11月末時点で地域協同基金47,913,000円、寄付15,060,500円の合計62,973,500円、目標に対して31.5%となっています。社会の中で困難が深まっている今だからこそ、諦めずに地域の皆さまの拠り所となる民医連を繋いでいきたいと思っております。

引き続き、更なるご支援をよろしくお願い致します。

本年も皆さまにより一層安心してご利用いただける病院を目指し、医療サービスの向上に努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。次回は、夏号でお会いしましょう。



更なるご支援のお願い

これまでのご支援に心より感謝申し上げます。皆様の温かいご支援が私たちの活動の支えになります。

地域協同基金・寄付は本年12月末まで募集しております。更なるご支援をよろしくお願い致します。

新病院に隣接する、元整形外科跡の改修後イメージ図

(医局・総務課は、改修後の2階に引越し、新病院完成後は1階部分に在宅総合ケアセンター協立が入居)

水俣グループリニューアル タイムスケジュール

- 2024年 9月25日
入札 (梅林建設)
- 10月15日
建設予定地横、
整形外科医院跡改修工事開始
- 11月29日
整形外科医院跡改修工事終了
- 11月30日～12月1日
総務、医局 整形外科医院跡2階へ引越
- 12月3日
総務、医局棟、倉庫解体工事開始
- 2025年 1月8日
起工式
- 2026年 2月28日
新館完成予定
- 3月中旬
完成内覧会、祝賀会、旧館から新病院へ引っ越し、旧館解体工事開始
- 4月1日
新病院運用開始
- 11月初旬
解体終了、外構工事着工
- 12月末頃
外構工事完了、全面オープン

水俣協立グループリニューアルを支える 地域協同基金・寄付の お願い

水俣協立病院・神経内科リハビリテーション協立クリニックが
新しくなります。
いのちの平等をかけた50年。これからも地域と共に歩みます。

水俣協立グループは、1974年の開設以来地域の皆さまと共に歩んで参りました。これまで増改築等に対応してきた施設の老朽化対応と耐震化を目的に、2025年度完成を目標にリニューアルを行います。
建築費用は、その多くを銀行からの借入で対応しますが、皆さまにもお力添えをいただきたく、地域協同基金、寄付へのご協力を呼びかけます。
今後も健康づくりまちづくりに取り組み、水俣地域の医療・介護活動の礎、水俣病運動の礎として更に力を発揮できるよう、多くの皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

募集期間 2024年1月～2025年12月

お申込先 お近くの芳和会事業所、友の会事務所までお願い致します。

申込方法 申込書と現金を、病院、クリニックの窓口にご持参いただくか、申込書を職員にお渡しいただき申込金額を芳和会の銀行口座にお振込みください。

振込先

肥後銀行水前寺支店 普通1908
社会医療法人 芳和会
理事長 積 蒙英 (セキタケヒデ)

※振込手数料はご負担をお願いします。
※本寄付は確定申告寄付金控除の対象外です。

1万円以上のご寄付をいただいた方は、記念プレートにお名前を記載させていただきます。



社会医療法人 芳和会

〒862-0954 熊本市中央区神水1丁目14-41 くわみず病院別館3階
電話 096-381-5887 FAX 096-381-1502

地域協同基金・寄付金お問い合わせ先

水俣協立病院 総務課 直通 (0966)63-1823

高岡所長著書 「水俣病と医学の責任」が 日本医学ジャーナリスト協会優秀賞を 受賞しました

神経内科リハビリテーション協立クリニック
事務長 打上 努



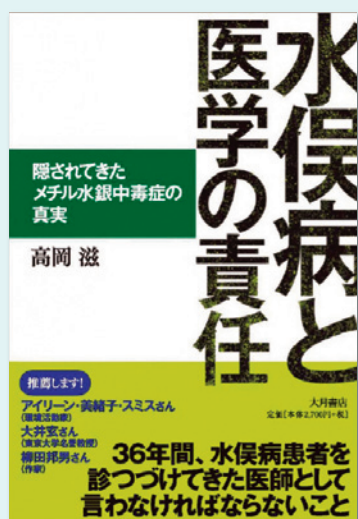
高岡所長の著書「水俣病と医学の責任」が医学・医療・福祉分野での報道に関心を持つジャーナリストが集まって1987年に発足した「日本医学ジャーナリスト協会」より表彰を受けました。この賞は新聞、テレビ、ラジオなどメディアの他、雑誌や書籍作品などが対象作品となっており、その他の受賞者・団体は「移植見送り問題」「LGBT」「認知症」を取り扱った新聞社・テレビ局でジャーナリスト以外での受賞は高岡所長のみでした。

高岡所長が水俣に赴任してから数多くの検診を行い、裁判へのかかわり、共通診断書を作成するなど水俣病に苦しむ患者に向き合ってきた36年という長い期間で医学界の変節を遂げた権威者や環境省（医系技官）という専門家が何もしてこなかった（不作為）に対して、自分が信じた正しい道を進んできたことに光をあてて頂いたと感じました。さらに協会理事より高岡所長の著書に対して神経学会の重鎮が書いた「書評」とそれに対して高岡先生が書いた「回答」の2つの論文を読み比べ「高岡所長の論文は全く非の打ち所がなく、受賞にふさわしい」と言われた時は私自身震えるような喜びと水俣病の解決に前進できるという思いを感じる事が出来た瞬間でした。授賞の講演については協会HPで公開されていますので是非ご覧ください。

<https://www.mejaj.org/award> (日本医学ジャーナリスト協会HP)



医学界の病巣にメスを入れるこの本を読まずに、もう水俣病を語ることはできない



主要目次

- 第1章 水俣病発生時の医学者たち
—— 水俣病の発見～原因物質の究明
- 第2章 変節を遂げる医学者たち
—— 水俣病終息説～「昭和52年判断条件」
- 第3章 患者に向き合う「医師団」の誕生
- 第4章 水俣病医学、誤りのスパイラル
—— 「昭和52年判断条件」の呪縛
- 第5章 医師として水俣病に向き合い続けた36年
- 第6章 知られざる水俣病＝メチル水銀中毒症の病態
- 第7章 今なお続く医学者たちの誤り
- 第8章 医系技官という存在
- むすび 未来に向けて水俣病から学ぶ

※本は協立クリニックおよびAmazonでご購入いただけます。

ベトナムのトップ研究者と 「枯れ葉剤」「カネミ油症」「水俣病」問題で医学交流し 汚染地の医療・福祉施設を訪問して

水俣協立病院名誉院長 藤野 紘

私たち熊本民医連有志は1987年に熊本の地下水の汚染問題に取り組む中で、枯葉剤の被害調査に保育器や医療器具をプレゼントにして、手術前のドクちゃんドクちゃんを訪ねていました。

現在「カネミ油症」の次世代・次々世代に対する影響が医学的な研究課題となっています。いわゆるコーラーベビーだけでなく流産・死産などの妊娠異常に加えて先天性疾患では、早産・低体重が5.2%、歯牙欠損など歯の病気が4.9%、口唇・口蓋裂と心室中隔欠損が各0.8%と「油症研究班」により2022年2月報告されています。昨年度、口唇・口蓋裂は油症と関係があるも、心室中隔欠損は関係ないと報告され、本年度の研究課題に歯牙欠損が挙げられています。

一方、「水俣病」でも胎児性水俣病の存在だけでなく、流産・死産などの妊娠異常に加え、先天性の奇形の存在が確認され、微量の汚染では心身の発達障害が報告されています。

「枯れ葉剤」においても妊娠異常や先天性奇形の多発が報告されており、また、直接汚染を受けた女性だけでなく、男性の場合にも同様な影響が次世代に出現しています。また、直接被曝した世代を含めてあらゆる病気が出現しており、「病気のデパート」と言われたカネミ油症と同様です。

これらの原因にダイオキシンが直接子どもに伝わるということとは別の機転の「エピジェネティクスをかく乱する（遺伝子の塩基配列の異常がない状態で病気が発現する）」ことが考えられています。

以上のことから、「水俣病」や「カネミ油症」で確認されたことが「枯れ葉剤」で出現していないかを、今回もフォトジャーナリストの中村梧郎先生のお力添えでベトナムの枯れ葉剤研究の最高の医学者であるレ・ケ・ソン博士と医学交流し、ホーチミン市、ベンチェ市の5カ所の病院・障害児センター・学校を訪問しました。

レ・ケ・ソン博士は亡くなったレ・カオ・ダイ教授の後継者と言われていますが、今回の旅には同教授の著明な「ベトナム戦争におけるエーゼントオレンジ（枯れ葉剤）、歴史と影響」（文理閣、2004）を監訳され、その後もベトナムで被害者の支援・研究が続けられている京都民医連の尾崎望先生が同行されました。また、水俣病の妊娠異常を世界で初めてまとめられた板井八重子先生、日本におけるエピジェネティクス研究の権威者である澁谷徹先生も参加されました。その他にも、水俣で胎児性患者の支援を続けておられる加藤タケ子さんら、アメリカから前回団員の市原京子さんが来られました。

私は全てのところで、永久歯の先天性の歯牙欠損の有無を尋ねましたが、レ・ケ・ソン博士は「気付いていない」、訪問先の5カ所中4カ所でも同じ返事でした。1カ所だけ「2家系の兄弟がおり、1家系の3人はすべて亡くなった、残る1家系の3人中1人は亡くなり、残る2人は通園中だが本日は来ていない」ということでした。

最後にドクちゃんの家族（ボランティア出身の奥様と今年高校生になる双子の息子と娘さん）と夕食会をし、水俣の胎児性患者とのインターネット交流をしました。引き続きの交流を約束してお別れしました。

※1987年の訪問記を復刻しましたので御入用の方は病院窓口へお申し出ください。（無料）



ベンチェ人民委員会との交流



障害児センター



左から3番目がドクさん



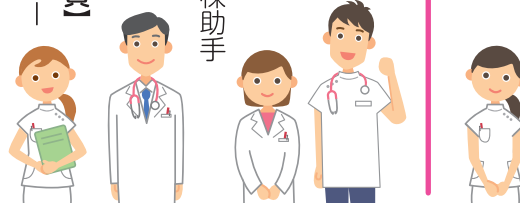
戦勝記念館入口
中村梧郎さんの写真の前で

新入職員紹介

- 協立クリニック
 - 外 来 ▼ 荒木 春美 (看護師)
 - 外 来 ▼ 横内 美鈴 (准看護師)

求人のご案内

- 水俣協立病院〔正職員〕
 - ◆ 医師 ◆ 看護師 ◆ 薬剤師
 - ◆ 精神保健福祉士
- 水俣協立病院〔契約職員〕
 - ◆ 看護師 ◆ 准看護師 ◆ 病棟助手
- ケアセンター協立〔正職員〕
 - ◆ 看護師
- ケアセンター協立〔契約職員〕
 - ◆ 看護師 ◆ ケアマネージャー
 - ◆ 登録ヘルパー
- 協立クリニック〔契約職員〕
 - ◆ 介護福祉士 ◆ 助手



入院に関する ご相談窓口

＜地域医療連携室＞

担当：洲上・田口

電話 0966-62-3418

Fax 0966-62-3419

お気軽にご相談ください。



無料送迎も
あります

送迎をご希望の方は
外来にご相談ください。

外来診療のご案内

協立病院

時間	曜日	月	火	水	木	金	土
午前	前	○	○	○	○	○	○
午後	後	○	○	△	○	○	△
夜間診療		○	△	△	△	○	△

受付時間
 午前 ▶ 8:30～11:30
 午後 ▶ 13:30～16:30 (月・火・木・金)
 夜間 ▶ 16:30～18:30 (月・金)

協立クリニック

時間	曜日	月	火	水	木	金	土
午前	前	○	○	○	○	○	○
午後	後	○	○	△	○	○	△
夜間診療		○	△	△	△	△	△
通所リハビリ		○	○	○	○	○	△

受付時間
 午前 ▶ 8:30～11:30
 午後 ▶ 13:30～16:30 (月・火・木・金)
 夜間 ▶ 16:30～17:30 (月)
 通所リハビリ ▶ 祝日も行っております。

水俣
協立病院



協立
クリニック



ホームページのご紹介

編集後記

「ペットロス」という言葉を

耳にされたことがありますか？

私は、純平と桔平という2匹の
ダックスフンドを飼っていまし

た。昨夏、老衰のため15年を共

に過ごした純平が天国に召され、初めてペットロス
を経験しました。私のロスもさることながら、残さ

れた桔平のロスは重症でした。食いしん坊が食事も
取らず、夜も眠らず、みるみる痩せてしまいました。

2匹で寄り添い眠る姿を微笑ましく見ていました
が、2匹の絆は私が考える以上だったのでしよう。

大切な何かを失うことは人間も動物も同じなので
す。最近やとと元気になりつつある桔平。私はまた

いつかペットロスを経験することになりますが残さ
れた時間を大切に、更に愛情を込めて過ごしてい

たいと思います。

(S)

